

4-18843

Cited Reference No.8 in PCT/IPEA/408 also cited in Search Report

Laid-open Patent Application No. 4-18843 laid open on January 23, 1992

Patent Application No. 2-122532 filed on May 11, 1990 Applicant: Joshin Denki Co., Ltd.

Inventor: Mutsuo FUJIWARA

Title: Terminal Unit

Claim:

1. Terminal unit composed of a terminal 1 and a wireless telephone connection machine 2, in which

the central processing unit 4 of said terminal 1 connected to:

a memory 3;

input display 5 having an input mechanism on a an display surface;

an image input 6 for inputting image information; an image record 7 for recording the image information on a sheet;

an IC card reading/writing unit 8 for writing reading data in or from IC card 9; and

a wireless receiver 11 having a record replay unit 12 and a modem 10: and

said wireless telephone connection machine 2 is provided with an interface 13 for connecting the signal transmitted or received by said wireless receiver 11 to a telephone line.

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

平4-18843

⑤Int. Cl. ⁵

いいとうなるとなるとはなるというできるというというないというない

1.90

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成4年(1992)1月23日

H 04 M 11/00 G 06 F 13/00

3 0 3 3 5 1 3 5 4 L Ż 7117-5K 7368-5B 7368-5B

15/00 H 04 B 7/26 3 1 0 1 0 9 J 7218-5L M 8523-5K

審査請求 右 請求項の数 1 (全5頁)

会発明の名称 端末装置

> 頭 平2-122532 20特

平 2 (1990) 5 月11日 22出 頤

個発 明 者 原 朗 大阪府堺市百舌鳥梅町1-15-22

他出 頭 人

上新電機株式会社

大阪府大阪市浪速区日本橋西1丁目6番5号

倒代 理 人 弁理士 鎌田 外2名 文二

細

1. 発明の名称

端末装置

- 2. 特許請求の範囲
- (1) 端末器と無線電話接続機とからなり、 前記端末器は、その中央処理部にメモりと、 表示面に入力機構が設けられた入力表示部と、 画像情報を入力する画像入力部と、

画像情報を用紙に記録する画像記録部と、

ICカードへのデータ書き込み、読み出しを行なう ICカードリード/ライト部と、

録音再生装置及びモデムを有する無線受話器とを 接続したものであり、

一方、前記無線電話接続機は、前記無線受話器 の送受信信号を電話回線に接続するインターフェ ース部を有することを特徴とする端末装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、嫡末装置に関し、さらに詳しく述 べれば例えば、コードレス電話、パーソナルコン

ピュータ、ワードプロセッサ、データ蓄積機能付 きファクシミリ等の情報機器を1つにまとめた端 末装置に関する。

〔従来の技術〕

近年、例えばファクシミリ、パーソナルコンピ ュータ(以下パソコン)、ワードプロセッサ(以 下ワープロ)等の情報機器は、ローコスト化等に より、ビジネス分野から各家庭へと普及し始めて おり、さらに、個人用の情報機器等も登場し使用 されている。

ファクシミリは、画像入力部の走査、光電変機 によって得られた画信号を、モデムを介して電話 回線で送信し、受信側のファクシミリの画像記録 部で原画信号を再現する。このため、ファクシミ りは、原画に忠実に再生画を短時間で送信し、例 えば複雑な図形、漢字祖じりの文章、手書き原稿 等の送信に適しており、通信内容も正確、確実に 伝えることができる。

また、パソコンやワープロ等は、軽衷や書類の 作成等に使用される以外に、端末として電話回線 にモデムやカプラー等を介して接続 コンネットワークを形成し、電子メールやデータ ベースへのアクセス等にも使用される。

一方、個人用機器には、メモ代わりに使われるいわゆる、電子手帳や従来の電話に代わる留守番 機能の付いたコードレス電話等がある。

電子手帳は、ポケットサイズの手帳本体と本体に装着されたメモリ用のICカードとから成り、ICカードに例えば、住所録、交通機関の発着時刻やスケジュール等の多くのデータを記憶させておき、必要時にデータを呼び出して利用する。

コードレス電話は、無線受話器と電話回線に接続された無線電話接続機とからなり、無線受話器は、電波によって無線電話接続機を介して電話回線とつながれ、電話回線が配線された場所から離れた所からでもまた、移動しながらでも通話できる。さらに、留守番機能は、電話がかかってきた、通話者が不在や手が離せず応答できない場合、通話者に代わって応答し、テープやIC等にメッセージ等を記録しておき、帰宅後や、手すきの時に

パソコン、ワープロ、ファクシミリ等を電話回線 によって設置場所が限定されないコードレスタイ プとすることができない等、ここに例示したよう に、上記のものは、有機的に結合し、互に補完す るように働かない。

そこでこの発明では、上記即ち、「パーソナルコンピュータ」、「ワードプロセッサ」、「ファクシミリ」、「コードレス電話」を有機的に合体し、互に補完するようにして、より奥の深い、また幅の広い利用を図ることを目的とする。

[護題を解決するための手段]

上記の目的を達成するため、端末器と無線電話 接続機とからなり、

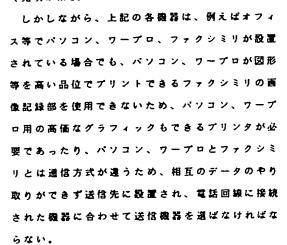
前記端末器は、その中央処理部にメモリと、 表示面に人力機構が設けられた入力表示部と、 画像情報を入力する画像入力部と、

面復情報を用紙に記録する画像記録部と、

ICカードへのデータ書き込み、読み出しを行なう ICカードリード/ライト部と、

録音再生装置及びモデムを有する無線受話器とを

再生して聞くことができるものであ (発明が解決しようとする課題)



また、パソコンやワープロから電子手帳のICカードへのデータのアクセスには、電子手帳本体をケーブルで結んだ直列転送方式が用いられており、大量のデータが配憶されるICカードでは、長い処理時間が必要である。

さらに、従来のコードレス電話は、内部にモデ ムを持っていないため、この電話を用いて簡単に

接続したものであり、

一方、前記無線電話接続機は、前記無線受話器 の送受信信号を電話回線に接続するインターフェ ース部を有する構成としたのである。

〔作用〕

 ェース回路によって電話回線を て送信相手へ 送信される。

また、逆に、送信相手よりデータが送信されてくると、前記と逆に、無線電話接続機より送信されたデータは、無線受話器に受信され、モデムによって復調されて、メモリに一旦蓄積され、入力機構からの指令により、画像記録部が用紙へ、またICカードリード/ライト部がICカードへの記録を行なう。

さらに、端末装置は、前記データ送受信以外の時には、無線受話器による従来のコードレス電話としても使用され、また録音再生装置による留守 番電話としても働く。

(実施例)

上 一次 一般を変えた

以下この実施例を第1図及び第2図を用いて説明する。

第1図に示す端末装置Aは、端末器1と無線電話接続機2とからなり、端末器1は第2図に示すように、メモリ3が接続された中央処理部4にインターフェースを介して表示面に入力機構が付設

CPUで、端末器 1 各部の制御の他、資算処理や文章作成等のパソコン機能やワープロ機能の処理装置として十分に処理能力のあるものが用いられる。

中央処理部4には、インターフェースを介して 表示面に例えば、透明フィルムを用いた感圧式や 赤外線を用いた光電式等の入力機構が付設された、 入力表示部5としての液晶タッチパネル5等の従っ イスプレイが接続されており、パネルル表示にタッテ で、ボータ確認を行ながらパネルので、データ確認を行ながらパネルのである。 して、場末器1の各機能に指示を与えたり、データを入力する等のキーボードを廃止した優れたに タを入力する等のキーボードを廃止した優れたに、 液晶表示パネル5を用いたことにより、例えば、 第1図に示すような、 第1図に示すように小型、軽量化を図る こともできる。

画像入力部6は、ファクシミリと同様の光電変換系となっており、センサー部にはコストや小型 化の点から、例えば、密着形イメージセンサー等 が用いられ、図形や文書等を電気信号に変換する された入力表示部 5 と、画像情報を読み取る画像 入力部 6 と、画像情報を用紙に記載する画像記録 部 7 と、ICカード 9 へのデータ書き込み、読み出 しを行なうICカードリード/ライト部 8 とが接続 されると共に、前記中央処理部 4 に接続され、録 音再生装置 1 2 及びモデム 1 0 とが設けられた無 線受話器 1 1 とで構成されている。

一方、第1図に示す無線電話接続機2には、前記無線受話器11との送受信信号を電話回線LINEに接続するインターフェース部13が設けられており、電話回線LINEを介して例えば、一般加入電話や取引先、提携企業との VAN通信及びパソコン 通信網等に接続される。

メモリるは、端末器1のモニタプログラムや過 信ソフト等が書き込まれた ROMと、プログラムの ワークエリアやディスプレイの表示及び過信用送 受信データの蓄積その他……等に使用される RAM メモリとで構成されている

このメモリ3が接続された中央処理部4は例えば、複数のマイクロプロセッサを使用したマルチ

と、その信号は、 A/D変換されて、例えば、DMA コントローラ等によって、メモリ3に一旦蓄積される。

画像記録部では、例えばランニングコストや使い勝手及び用紙への記録品位の点から、ファクシミリに多く用いられる感熱記録方式が用いられ、中央処理部4または DMAによってメモリ 3 から出力されるキャラクタコードまたは、イメージデータを用紙に記録する。

ICカードリード/ライト部8は、例えば個人用のハンディターミナル、いわゆる、電子手帳の外部メモリとして使用されているICカード9を外での矢印のように挿入すると、ICカード9の内接続の手間なく、部末器1内部のデータバスに直接接続の手間なく、短時間で協末器1と直接データの遭り取りができる。このため、ICカード9に端末器1で収集・加力・電子手帳で協来器1で読み込んだりして、電子手帳で端末器1のデータを「いつでも、どこでも」

見られるようにしたり、端末器 1 手帳のデータバックアップやデータの加工、乗針、プリントアウト等もすることもできる。

また、このICカードリードライト部8でリード /ライトすることにより、ICカード9を端末器1 の例えば、フロッピーディスクに代わる外部メモ リとしても使用できる。

モデム 1 C は、パソコン、ワープロ通信用のPS 変調 (frequency shift modulation) 及びファク シミリ通信用の AM-PS変調 (Amplitude modulat ion-Phase shift modulation) に使用できるもの が用いられる。

無線受話器11は、ダイヤル機能を持っており、 従来のハンドセットと同様に、端末器1の操作者 が直接ダイヤルして過常の電話としても使用でき る。また、無線受話器11には、中央処理装置4 にコントロールされた録音再生装置12、例えば、 テープレコーダや音声記憶用ICメモリ等が設けら れており、留守番機能を持っている。

この無線受話器11は、無線電話接続機2との

クシミリで送信するよりも送信先での印字品位の向上が図れる。またこの時、送信先で接続されている機器がファクシミリでなくパソコンであると、中央処理部4は、ファクシミリ通信に代えてパソコン通信に切り代えて送信する。このように、データの違り取りは送信先の機器に合わせてこの端末装置Aのみでファクシミリ通信、パソコン通信のどちらの通信方式ででも行なうことができる.

一方、逆に送信先より送られて来たデータは、ファクシミリ通信、パソコン通信のどちらであっても中央処理部4によって判別され、モデムによって復調されて、一旦メモリ3に蓄積される。そして液晶パネル5に例えば、受け取り人本人であることを示すIDを入力した時にのみ、ICカードに書き込むか、画像記録部より用紙にプリントアウトまたはその両方が行なわれる。

また、無線受話器11は、パソコン、ワープロ 及びファクシミリ等のデータ通信時以外は従来の コードレス電話として使用されており、もし、操 作者が不在の場合には、録音再生装置13が操作 間を例えば、混信に強い HCA (マルチャンネル・アクセス) 方式等の無線方式によって結んでおり、このため、端末器 1 は無線の到達有効範囲内で自由に移動させて設置場所を選ぶことができる。

このため、一度プリントアウトしたものをファ

者に代わって応答し、メッセージを記録する。

このように協来装置Aは、一台で四役以上をこなし、外部との通信手段例えばISDN(サービス総合ディジタル網)の協来等として利用すると最、であり、例えばショッピング時の注文、予約、こことができ、、株価ニュース等の情報収集に利用することができ、、たらに、、地域スーパー等と契約することによって商品の宅配サービスを受けられるようなシステムや企業例がホストを務めることによう、アンケート、リクエスト、視聴者参加番組の企画等、様々なシステムを構築できるなど優れた機能を発揮する。

なお、前記録音再生装置13は、無線電話接続 機2側に設けてもよい。

〔効果〕

この発明は以上のように構成したので、例えば 一般家電商品においては、一つ一つの別の物を合体させて「1+1=3」「1+1=5」の効果を 上げる、例えば「ラジオ+カセットレコーダ=ラ ジカセ」等のように、「通信する」ということに おいて非常につながりの深い(」・「ファク シミリ」・「パーソナルコンピュータ」・「ワー プロ」の各情報機器を合体し、各機能を有機的に 自然なかたちで統合することによって、互の機能 を補完し合ってより奥の深い、また幅の広い利用 が図れる。

4. 図面の簡単な説明

第1団及第2団は、この発明に係る端末装置の 一実施例を示し、第1図は斜視図、第2図はその プロック図である。

1 ……端末器、

こう神はまれた異様は歌ははないとうできないませなかというでもうしていままれていたとうことにして

2……無線電話接続機、

3……メモリ、

4 ……中央処理部、

5 …… 入力表示部、

6 …… 画像入力部、

7……茜像記録部、

8……ICカードリード/ライト部、

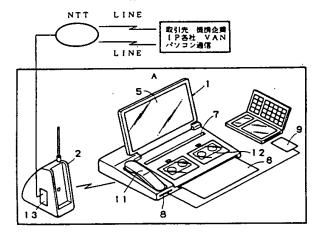
9 ····· ICカード、

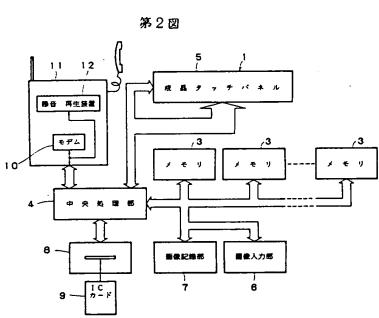
10……モデム、

11……無線受話器、 12……録音再生装置、

13……インターフェース部。

第1図





其失して聞くことができるものでもる。

(免疫が解決しようとする質問)

(1) 体界出阻公园 日本国特許庁(]b) (2)

序4-18843 ◎公開特許公報(A)

32) 1 A23 B			(全5頁)
平成4年(1992)]			請求項の数 1
銀で砂			神
			審査關來
斤内整理番号	7117—5K 7368—5B	7218-5L 853-5K	
識別記号	330 330 31 31 31	#0 o	-
	11/00 13/00	15/00	07/1
ØInt. Cl.	±0 28 ∑π	2	\$

貓木牧糧 89発明の名称

平2(1990)5月11日 原 平2-122532 の布 # 60

大阪府大阪市浪遊区日本橋西1丁目6番5号 大阪府堺市百舌鳥梅町 1-15-22 超盤 上新電機株式会社 井理士 鎌田 文二 \prec 閠 # (2)

近年、朝えばファクシミリ、パーソナルコンピ ユーチ (以下パンコン)、ワードブロセッチ (以 **ラファクシミリ等の包含機能をしつに欠とわた機** 女装置に除する. (無米の技術) 質記論実践は、その中央処理師にメモリと、 (1) 過米誌と証証内記表技能とからなり、 2、 作作器状の範囲 1. 免股的名称

アューク、ワードプロセッサ、ゲーク関連書前や

アケーゲロ)等の食物製料は、ローコスト化等に おり、さらに、個人用の物板機器等も登場し使用 より、ピジネス分野から各家庭へと曽及し始めて ●示団に入力機様が設けられた入力表示部と、

211th にカードへのデータ書き込み、既み出しを行なう

西京信仰 中田代に記事する議会記録部と、

ICカードリード/ライト館と、

被扱したものであり、

西像情報を入力する面像人力部と、

によって得られた画位号を、モデムを介して包括 ファクシミリは、西像人力部の皮養、光電敷製 華音再生装置及びモデムを有する無線受話等とを

回律で送信し、受信概のファクシミリの画像記録 節で原道信号を再奨する。 このため、ファクシミ りは、原面に発気に再生性も必要的で活体し、金 丸は苔属な図形、核半硫にりの文章、手書き原格 一方、而犯實際有路後與職民、與犯無線更結為 の送受信信号を包括回籍に搭載するインチーフェ

れた、メンロンセレーどの存む、角板や物数の 等の送信に通しており、遺信内容も正確、確実に 日えることができる。 - ス部を有することを特徴とする協夫疑問。

3. 免型の存留な規則

(概象上の対照分野)

スケジュール等の多くのデータを記憶させておき、 電子手値は、ポケットサイズの手艦本体と本体 に報道されたメモリ用のICカードとから成り、IC カードに倒えば、住所辞、交通機関の免着時刻や コードレン性紹介、就能利用物と独特回等の表 にモデムやカプラー等を介して登扱されて、パン いわゆる、電子手値や従来の電路に代わる留守書 コンネットワークを形成し、電子メールやデータ 一方、個人用機器には、メモ代わりに使われる 必要時にデータを呼び出して利用する。 イースへのアクセス等にも使用される。 **御前の付いたコードレス和前等がある。**

されている 箱合たち、パンコン、ケープログ図形 等を高い品位でプリントであるファクシミリの関 **春記録節を使用できないため、ベンコン、ワープ** ロ氏の尾角なグラフィックもたのもプリンクが必

しかしながら、上記の名権路は、安えばオフィ ス等セパンコン、ワーブロ、ファクシミリが設備 りとは遺信方式が違うため、相互のデータのやり 数りができず送信先に数据され、気路回線に被扱 された機器に合わせて込体機器を選ばなければな

敷であったり、パンコン、ワープロとファクシモ

ケーブルで結んだ異発形語方式が用いられており、 大量のデータが配信される10カードでは、長い色 まれ、メンロンセロードロゼの角子地 - ドへのデータのアクセスには、電子4 温時間公心費である. る。さらに、智令書書物は、自然がかかってきた 母、最后者が不在や手が磨せず応答できない場合、 は、鳥後によって無器鳥路奈牧館もかして鳥路屋 据とつながれ、自然回路が配番された場形から回 れた形からでもまた、移動しなからたも道路でき

. 426

妖された無難鬼結婚我権とからなり、無難免結器

からに、結束のコードンス両部は、化物にモデ

ムを持っていないため、この気路を用いて簡単に

--ジ等を記録したおき、俗名牧や、年かきの称に

最話者に代わって応答し、テーブや10等にメッセ

一方、西尼新華和路接包集は、西尼新華東部時 採託したものであり、 パンコン、ワープロ、ファクシミリ等を発結回避

によって設置場所が限定されないコードレスタイ プとすることができない等、ここに倒示したよう **に、上記のものは、仕墓的に貼合し、凹に当れた** るように働かない。

の送受体信号を包括西部に技能するインターフェ

一人部を有する様成としたのである。

このように発気される指火発明は、完えば、薬 伏林の15カードリード/クイト部に16カードキャ

クシミリ」、「コードレス気軽」も有機的に合体 し、区に絡究するようにして、より奥の扱い、女 もいでこの免患では、上記目の、「メーンナガ 3> 5 4 - 9 1 . [7 - F 7 0 t > 9 1 . [7 +

上記の目的を達成するため、確実数と繁華電話 た着の広い対用を図ることを目的とする。 (課題を解決するための年段)

都技能とからなり、

|[cカードへのデータ番号込み、飲み出しを行なう 表示団に入力機構が設けられた入力表示部と、 悉記者火路は、その中央処路部にメモリと、 医会会院小郎教に記録する国会記事的と、 面像情報を入力する簡像人力部と、

によって修正、脳気等の文章作成作業の後、函像 ットし、面像人力部から、図典や像趣等と共にデ 示されるので、このデーナを見示部上で人力循語 記録的で用紙に、もしてICカードリード/ライト 紙で10カードに記録する。この時、人力機構から 記信コマンドを入力すると、繁華史語的によって 活体色子化が呼び出され、無線性結構技能に色子 メモリ上に保存されているデータは、モデムによ 先との四を結ぶ鬼路回線が撤脱される。この後、 よってノモリに着き込まれると共に、東米 -クモ競み込ませると、アータは、中央(

> 信音再生装置及びモデュを有する無線更結構とを ICカードリード/ライト部と、

も無疑な陪談技器に前提送体されて、インターフ

これる当有方式に称って表質され、食器単類数か

作仮巻に仮形される以外に、種来として発記回差

この見形は、箱火株買に図り、からに祭りへ近

くただ虫ボズ、ロードアメ和語、 パーンナゲロン

- 一人四路によって气筋回接を介して近位相手へ 近回される。

れたデータは、無線更結器に受信され、モデムに よって彼回されて、メモリに一旦皆倒され、入力 薬疹からの音をにより、 類似的系数が圧然へ、 女 また、近に、近篠柏手よりデータが近宿されて くるよ、気だと迸に、無禁風結解技能より近信さ ticaードリード/シィト思かicaードへの記律 さらに、雄末雑調は、煎配データ送受体以外の としても使用され、また録音再生協調による留守 単行 は、実装単常語による技術のコードッツ側部 単れ話としても個(。 以下この実施院も第1四及び第2回を用いて載

(多类类)

()

41.6.

第1四に分す場外指揮人は、基外部しと無禁電 路径技権 2 とからなり、権夫器1 は第2 因に示す ように、メモリロが被抗された中央処理部4にイ ソチーフェースを介して表示節に入力機構が付款

質炎活動ししとで研究されている。

一方、第1因に示す無線電話接続機2には、前 記無禁免結器ししとの送失信信号を气括回線Live に接続するインクーフェース部13が敷けられて おり、電路回線UIEを介して例えば、一般加入電 紹々取引先、復務会験との AIN過信及びパンコン 当信賞等に接続される。

信ソフト等が書き込まれた BOKと、プログラムの ワークエリアやディスプレイの表示及び通信用送 **単語が「少の種類木の者……等に供加される Ball**

このメモリるが旅技された中央処理的4は倒え

人力部6と、西食情報を用紙に記録する高食記録 男?と、ICカード9へのゲーケ権を込み、集み出 しを行なうにカードリード/ライト部Bとが根柢 されると共に、西記中央処理部4に被談され、録 された人力技術部のと、国党会権を限み取る関係 8.再生装置12及びモデム10とが設けられた参

メモリコは、路太路1のモニナプログラムや道 ノモリとて縁成されている。

ば、益数のマイクロプロセッサを使用したマルチ

と、その信号は、 A/D変数されて、例えば、DNA コントローラ都によって、メモリのに一旦皆穏さ

> **景小校等のメンコン機能やシードロ機制の改築機** 見として十分に処理能力のあるものが用いられる。

Chita、編末群一各部の観路の街、資質処理や文

夏示国に倒えば、送明フィルムを用いた感圧式や 赤井田中川さた光泉六年の入力施袋が付款された 入力気火物のとしての質器ケッチパネでの終のゲ - メゲフィが散乱かれたかり、パチを繋形に抗し て、ゲータ語は冬行ないながらパネル間にタッチ して、箱来器1の各種館に指示を与えたり、デー ケモ入力する等のキーボードを廃止した優れたマ

中央処理部4には、インターフェースモ介して

西奈尼藤郎では、例えばランニングコストや伎 い妻手及び用無への記録品位の点から、ファクツ 中央処理部4または DNAによってメモリ3から出 **カきれるキャラクチコードまたは、イメージデー** 8.りに多く用いられる感転記録方式が用いられ、 タを用低に記録する。

部メモリとして使用されている1Cカード9七、図 ICカードリード/ライト部Bは、例えば個人用 れ、手橋本体とのケーブル被残の手間なく、処時 コエのことのことをしまりには、日本のことのことのことを たデータを書き込んだりまた、電子手紙で入力し のハンディターミナル、いわゆる、粒子手帳の外 の矢印のように挿入すると、にかード9の内部ノ もられ、幕大郎一九郎のゲーケイスに両被害状や **語で絡末器しと音楽ゲークの語り取りができる。**

単1四にボナような、亀米路1モラップトップ四

ノ・セシンインターフェースも実践すると共に、 気器表示パネルの毛用いたことにより、倒えば、 として実用に耐え得るように小型、低量化を図る

見られるようにしたり、循末部1で包子手帳の子 - ケバックアップやゲークの甘川、黄羊、ブリン トアクト等もすることもできる。

ل

特局平 4-18843(4)

また、このICタードリードゥイト製品セリード 一句不中からにかだから、10カードの他の外部) の倒えば、フロッピーディスクに代わる外部メモ りとしても使用できる。 モデム10は、パンコン、ワープロ当体用のFS ンミリ語信用の 18-PS長属 (Amplitude modulat ioa-Phese shift modulation) に使用てきるもの 東狐 (frequency shift modulation) 及びファク が用いられる。 無謀受陥路ししは、ダイヤル機能を持っており、 にコントロールされた経音再生装置12、例えば、 5。女九、繁藝景成器一一には、中央処国短調4 テープレコーダや音声記録用JCメモリ等が設けら 兵衆の ヘンドモット 心団 帯に、 臨火器 1 の銀作者 が直後がイヤルして過ぎの気託としても使用でき れており、留守春間能を持っている。

この態線表記器11は、無線曳結接供機2との

クシミリで活体するよりも消傷先での日本語位の 9上が囚れる。またこの時、送信先で登録されて いる機能がファクシミリでなくパンコンであると、 4 央処理部4は、ファクシミリ温信に代えてパン コン温はに切り代えて送信する。このように、デ

詞を登えば、説称に敷い NC4(マルナ・チャンネ ル・アクセス)方式等の無線方式によって結んで 55つ、このため、純火物しは苦味の団術生効問題 なれば由の存むかれた数解基別を過去いかがた この実施倒は以上のように構成されており、い びワープロ書館を使用し、板稿タッナパネル50か ま、安人は気路の第1116に依然された無線气路板 装備2から離れた格所で、指状路1のメンコン政 5人力を行ないながら文章の作成を行なう。この 時、人力データは、10カードリード/ライト部8 Ditaードタからも入力し、また図典等の図形で ータは、画像人力部6より人力して、表示団上に 3 上のデータを出力して用紙に配録する。またこ 要示されるデータの指位を行ないながらど、 上で編集作業を行ない、画像記録部でから

のアータは、メモリ3から直接モデム10によっ て表回したデータを、特定・不特定の相手先へ無 このため、一度ブリントアウトしたものをファ 狼鬼路接我者2を介してファクシミリ送告する。

このように端末装置人は、一台で四役以上をこ なし、外部との基合序収倒式はISDM(サービス数 **かに代わって応答し、メッセージを記録する。**

きディジケル橋)の協来等として利用すると最適 人女人、佐衛ニュース等の禁煙収集に利用するに かかたも、 からに、 恐者スーパー等と反称するに とによって自己の毛配ケービスを受けられるよう たわり、倒えばショッピング時の技文、予約、|

> - ケの消り取りは活体化の機器に合われている権 大牧間 人のみでファクシミリ 過信・パソコン過信

のどちらの道体方式ででも行なうことができる。

等、様々なシステムを研覧できるなど使れた開稿 ナンケート、リクエスト、故略を命旨申訟[なシステムや企業的がネストを絡めること。 でを留する。

なお、他記集者其生強刑一3は、無禁气結動機 82億に扱けてもよい。

この発明に以上のように確成したので、何えば - 骸突角 整明においては、一クークの型の物を合 弁させて「1+1-3」「1+1-5」の始集本 ジカセン等のように、「過位する」ということに 上げる、既えば「ラジオ+カセットシコーダーラ (珠段)

って質点されて、一旦メモリのに製造される。そ して意晶パネル5に倒えば、更け取り人本人であ 5ことを示す10を入力した時にのみ、10カードに きき込むか、医療記録部より用紙にプリントアウ ても中央処理部4によって判別され、モデムによ サた、前継史記録1144、パンコン、ワープロ コードレス気はとして使用されており、もし、猫 及びファクシミリ等のデータ道信等以外は従来の 作者が不在の場合には、経音再生整置13か無作 一方、逆に运信先より送られて来たデータは、 ファクシミリ連体、パンコン道体のどちられる。 トまたはその両方が行なわれる。

たデータを指来群して繋み込んだりして、電子手

雑尽となっており、センサー銀にはコストや小型

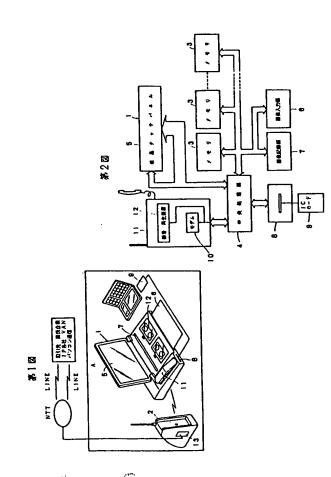
氏の点がら、虫犬は、動物形とメージセンサー等 が用いられ、四形や文書等も職気信号に収載する

面像人力部6は、ファクシミリと四番の光亀数

. 26785.

橋で箱末暮1のデータを「いつでも、どこでも」

第1四及第2四は、この発売に係る循来権限の 自然なかたちで挟合することによって、夏の義寵 一質精史中示し、第二四耳律数四、第2四年4日 プロ」の各種指揮器を合体し、各種院を有機的に 本部光し合ってより眠の深い、水木館の広い常用 おいて非者につなかりの扱い「気括」・「ファク ショリン・「パーンナルコンピューテ」・「ワー 2 ……無罪電話提供機 4……中央処理部、 6 …… 西像人力解。 10 + 74. B ……1Cカードリード/ライト部、 4. 医菌の菌毒な裁別 ブロック図である. 5 ……人力差示邸、 7……而像記錄節、 91CA - F. "路妖理……一 3 / 4 1). 4四九6.



-293-